

7. 危機管理、消防部門

(単位 千円)

事業名	予算額	内 容
(1) 総合防災対策費	123,003	<p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">市民生活の安全・安心を確保するため、大規模災害に備えた消防・救急体制の充実に取り組むとともに、女性消防団員の増員等による消防団機能やコミュニティ防災士の連携を強化するなど、地域防災力の向上を図るほか、危機管理センターの供用を開始</p>
		<p>新 危機管理センター管理運営費 24,500千円 第二本庁舎内に、防災情報システムを備えた危機管理センターの供用を開始 供用開始 令和2年5月</p>
		<p>防災意識啓発事業費 300千円 新 危機管理センターを活用した防災啓発イベントを開催 開催時期 令和2年8月 新 防災情報システムを活用した職員訓練を実施</p>
		<p>新 地域防災計画改定費 3,000千円 風水害等災害対策計画編及び避難勧告等の判断・伝達マニュアルを改定</p>
		<p>防災備蓄整備費 10,230千円 災害時に必要な食糧等を計画的に備蓄 新 避難所用テントを整備</p>
		<p>改 コミュニティ防災士育成強化費 3,040千円 地域防災力を高めるため、リーダーとなるコミュニティ防災士を計画的に育成 新 コミュニティ防災士の連絡組織を立ち上げ</p>
		<p>災害時協力井戸点検調査費 1,000千円 災害発生時に活用可能な井戸の水質や設備を調査</p>
		<p>災害時相互応援協定強化費 110千円 石川中央都市圏防災連絡会議において、災害時の応急復旧活動や応援体制等の防災連携施策を検討</p>

(単位 千円)

事業名	予算額	内 容
(2) 生活安全対策費	215,372	多言語防災情報発信事業費 730千円
		災害時における外国人観光客等への迅速な情報提供と避難誘導を図るため、多言語による防災情報を発信
		自主防災組織防災資機材等整備費補助 4,200千円
		避難誘導サイン 補助率 1/2 限度額 200千円
		サイレン付拡声器 補助率 1/2 限度額 300千円
		防災資機材 補助率 1/2 限度額 300千円
		改 地区防災計画を策定した自主防災組織の補助率を引き上げ
		補助率 1/2 → 2/3
		可搬式動力ポンプ 補助率 3/4 限度額 500千円
		防災倉庫の修繕 補助率 1/2 限度額 100千円
		地域防災マップ 補助率 1/2 限度額 200千円
		安否確認板 補助率 1/2 限度額 50円×世帯数
		地区防災計画策定推進費 2,400千円
		自主防災組織による計画の策定を支援 補助率 1/2 限度額 200千円
		改 被災地復興支援費 500千円
新 令和元年台風第19号で被災した長野県長野市へ土木技師1人を派遣		
LED防犯灯ESCO事業費 108,560千円		
安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するため、ESCO事業によるLED防犯灯の新設・管理を実施		
防犯対策費 96,585千円		
片町地区防犯ビデオカメラ維持管理費 5,435千円		
公衆街路灯電気料金等補助 83,380千円 など		
生活安全推進事業費 1,227千円		
防犯などのコミュニティ活動を支援 など		

(単位 千円)

事業名	予算額	内 容
(3) 新 消防・救急体制強化費 【重点戦略計画】	21,300	大規模災害時等における消防・救急体制を強化 水害対策を強化するため、救助隊及び消防隊に救命ゴムボート等を計画的に配備 救命処置の迅速化を図るため、消防ポンプ自動車にAEDを計画的に配備 災害対応に関する専門的知識習得のため、消防大学校警防科へ職員を派遣
(4) 応急救護強化費	4,780	<p>新 応急手当普及啓発費 200千円 地域において応急手当の普及を担うリーダーを養成</p> <p>宿泊施設応急救護体制強化費 3,350千円 宿泊施設の従業員を対象に救命講習会を開催し、 応急救護体制を強化 高度な救命技術の習得 多言語対応金沢救急アプリの提供</p> <p>看護学生応急救護活動費 1,230千円 大規模災害に備え看護学生と連携した救護体制を構築 災害時 医療救護所でボランティア活動を実践 平常時 応急手当普及員の資格を取得し、 普通救命講習会で指導</p>
(5) 救急高度化推進整備事業費	11,900	<p>救急救命士養成費 6,190千円 救急業務の専門化・高度化に的確に対応するため、 救急救命士を計画的に養成</p> <p>I C T救急画像伝送システム運用費 1,080千円 救急車内の傷病者の容態等を医師に画像伝送し、 迅速かつ効果的な救急活動を実施（内灘町と連携）</p> <p>高度救命処置に必要な資機材の整備など</p>
(6) 消防局広域連携推進費	4,000	新 消防車両の相互乗り入れなど、石川中央都市圏5消防本部の広域連携に向けた計画を策定

(単位 千円)

事業名	予算額	内 容
(7) 高機能消防通信 指令費	90,120	高機能消防指令システムを2市2町で共同運用
(8) 火災予防費	18,158	<p>改 火災予防業務費 6,253千円</p> <p>新 文化財建造物等の火災予防体制を強化するため、 文化財関係者への研修会や消防団員等と連携した 防火パトロールを実施</p> <p>新 消防法に基づく防火管理者の選任義務のない簡易宿所等 に対する防火管理研修会を開催</p> <p>改 自主防災事業助成費 7,635千円</p> <p>婦人防火クラブ、子ども消防クラブなどの活動を支援</p> <p>新 子ども消防クラブ員の新たな制服のデザインを制作</p> <p>木造建築物密集地域防災対策支援事業費 3,200千円</p> <p>木造建築物密集地域の町会による共同消火器の設置を支援 補助率 2/3 限度額 20千円/本</p> <p>完 住宅用火災警報器設置強化対策費 100千円</p> <p style="text-align: right;">【重点戦略計画】</p> <p>高齢者等の避難行動要支援者を戸別訪問し、警報器の 設置や電池交換を指導</p>
(9) 消防水利整備費	127,198	<p>防火水槽整備事業費 19,000千円</p> <p>40t級 1基 元菊町地内</p> <p>消火栓整備事業費 15,000千円</p> <p>消火栓標識の改修や未建植地域への設置を推進</p> <p>公共消火栓設置費負担金 92,298千円</p>
(10) 警防業務高度化 推進費	6,610	<p>無人航空機（ドローン）を救助活動及び情報収集に活用</p> <p>高度な災害現場活動を行うための資機材の整備</p>
(11) 消防車両購入費	160,600	照明電源車、消防ポンプ自動車及び高規格救急車などを更新

(単位 千円)

事業名	予算額	内 容
(12) 石川県消防防災 航空隊負担金	11,905	消防防災ヘリコプター隊員として3名を派遣
(13) 自主防災推進費	7,400	<p>地域住民の企画運営による実践的な防災訓練を実施</p> <p>訓練校下・地区 3校下・地区</p> <p>訓練内容 図上訓練、避難所運営訓練 など</p>
(14) 新消防団強化 対策費	7,019	<p>指揮支援体制の強化と防火広報活動の拡大を図るため、 女性消防団員を増員</p> <p>消防団員定数 1,232人 → 1,248人</p> <p>女性消防団員数 24人 → 40人</p> <p>消防団団本部が配備する人員資機材搬送車の購入を支援</p>
(15) 消防団運営費	95,353	<p>消防団員加入促進費 940千円</p> <p style="text-align: right;">【重点戦略計画】</p> <p>消防団の活動を発信することにより、地域住民の理解を 深め加入を促進</p> <p>消防団本部・消防分団運営交付金</p> <p>消防団活性化推進費</p> <p>消防操法大会出場補助</p> <p>加賀とびはしご登り保存会活動助成費 など</p>
(16) 新消防団装備 充実費	2,400	災害出動時の消防団員の安全を確保するため、救命胴衣を 計画的に配備
(17) 消防団施設整備 助成費	5,500	<p>機械器具置場等整備費補助 1,200千円</p> <p>改 消防分団の施設整備にかかる地元負担を軽減</p> <p>補助率 改修(修繕) 2/3 解体、建物取得 なし → 一律 3/4 (7.5/10)</p> <p>区域内の世帯数が1,000世帯未満の場合 にあつては補助率を上乗せ</p> <p>500～1,000世帯未満 (8.0/10)</p> <p>250～500世帯未満 (8.5/10)</p> <p>250世帯未満 (9.0/10)</p> <p>消防団備品等整備費 4,300千円</p>